

拠出金名：全米熱帯まぐろ類委員会拠出金

国際機関等名	全米熱帯まぐろ類委員会 (英文名称・略称) Inter-American Tropical Tuna Commission (IATTC)					
種 別	国連本体		国連専門機関		(その他)	
所轄官庁担当局課名	農林水産省水産庁国際課					
最近3年間の我が国支払額及び拠出率、ODA率						
単 位	金 額				拠出率(%) (注)	ODA率(%)
	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千ドル)	外貨2 (千)	レ ー ト		
平成16年度	22,472	204		1 \$ = 110円	(2004年) 70	100
平成15年度	24,924	204		1 \$ = 122円	(2003年) 67	100
平成14年度	24,924	204		1 \$ = 122円	(2002年) 67	100
事業(プロジェクト)への拠出						
拠出上位5ヶ国				本委員会の財政 (2004年度決算)※注3		
	国 名	(千ドル)	率(%)			
1位	日本	204	70	当該年度の収入 269,144ドル		
2位	台湾	5	2	当該年度の支出 240,020ドル		
3位			※注2	次年度への繰越 29,124ドル		
4位				会計検査機関名		
5位				KPMG LLP		
上記の率及び順位は2004年のもの				(現在の構成員の出身国: 米国)		
当該機関に対する我が国としての評価(当該国際機関の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)						
IATTCは東部太平洋のマグロ・カツオ類の資源管理を目的とした地域漁業機関であり、我が国は1970年に加盟。同海域はキハダメバチの好漁場であり、我が国漁船も年間マグロ類が約3万～4万トン、金額で約400億円～500億円漁獲しており、我が国漁業者にとり重要な漁場。近年まき網操業による漁獲が急増しており、効果的な資源管理の導入が急務となっており、IATTCの果たす役割は重要であると評価。						
合理化、機能強化のための改革が行われているか。 行われている場合はその現状と我が国としての評価						
IATTCにおいては、毎年加盟国に対して拘束力を有する措置を含む新たな保存管理措置等が取り入れられるように協議が行われており、我が国としては、それらの措置の策定過程にも積極的ににかかわる等科学的根拠に基づく保存管理措置を支持する立場にある。このため、我が国等が拠出金を提供し、各種科学調査を実施することにより、機能強化が図られている。						
邦人職員数 うち幹部以上	0 人 うち 人	当該機関の職員数及び 邦人職員が職員全体にし める率		0人 0%		
邦人職員が占めている幹部ポスト						
ポストの名称		職 員 氏 名		備 考		
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画						

(注1) 我が国と各国とは会計年度が異なるため、拠出率については暦年(2002年～2004年)。

(注2) 我が国と台湾からの拠出金のほか、米国からの機関に対する拠出金の一部が充てられている(2004年約60千ドル)

(注3) 2004年決算報告の当該事業費は推定額であるため、同時に報告された2003年決算の事業費確定額を記載。